



証券コード：3997

株式会社トレードワークス

2019年12月期 第2四半期

決算説明会資料

2019年8月13日



■ 目次

1. 2019年12月期 第2四半期 概況
2. 事業環境認識、継続的な取り組み
3. 2019年12月期 業績予想
4. 参考資料

1. 2019年12月期 第2四半期 概況



当期：安定的・継続的な成長に向けた基盤構築のための準備期間

**収益モデルの転換を目指し成長投資を実行。
上期は例年にないコストが生じたものの社内計画に沿い事業進捗。**

- **ストック型ビジネスの準備に注力**
- **事業拡大にむけ、人材、設備、その他投資を実施**
- **既存、新規顧客ともに想定水準で受注、納品が進捗**
- **当期は、下期偏重の業績計画。
下期は、仕掛案件を確実に進行し、通期計画達成に邁進**



■ 2019年12月期 第2Q業績ハイライト (単位：百万円)

**大型案件が第1Qに寄与した前期。
当期は、下期売上拡大に向け、原価、投資が先行。
本社移転費用も上期に計上。**

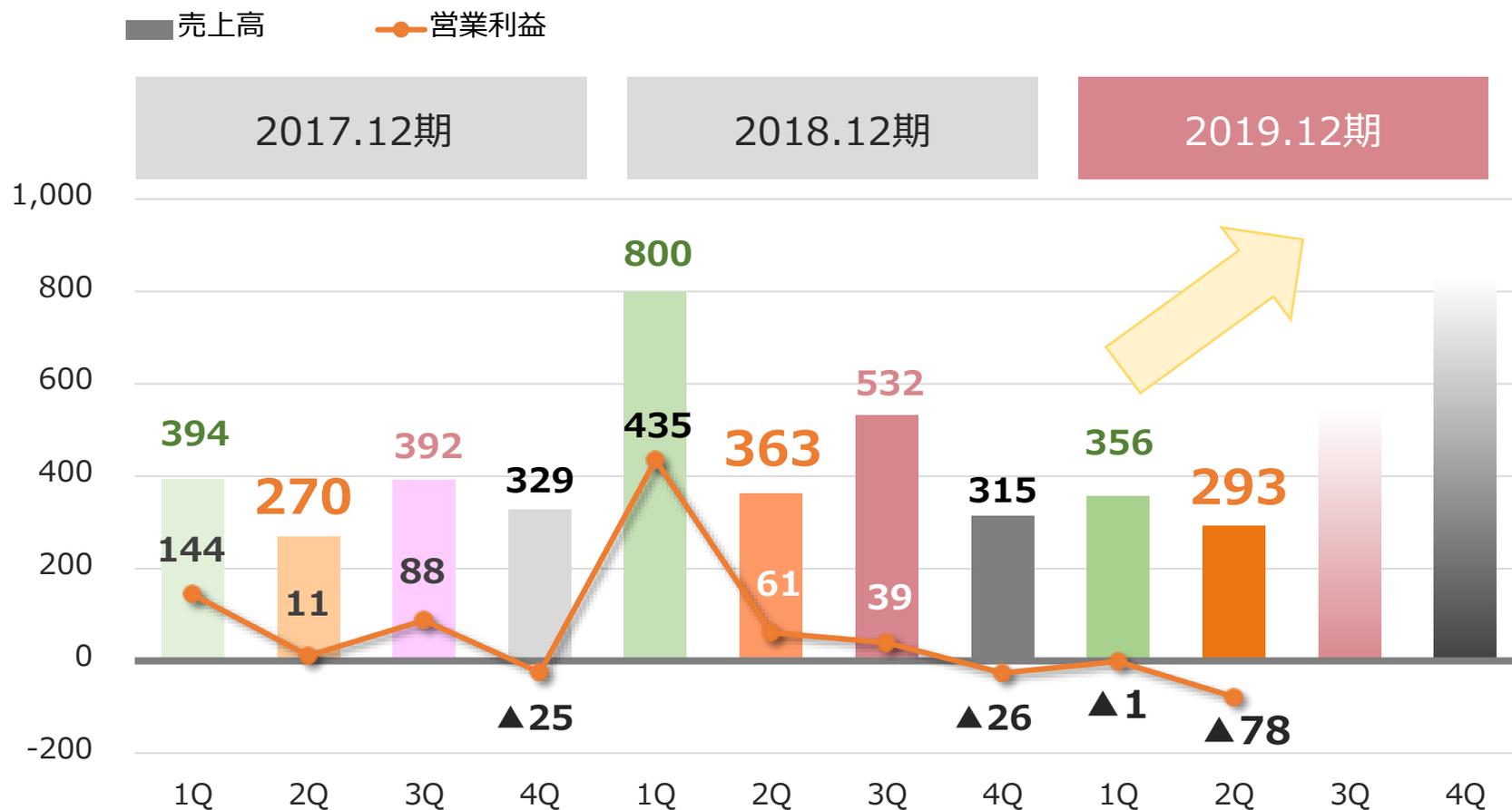
項目		2018.12期 2Q		2019.12期 2Q		増減額	前年 同期比
売上高		1,164		649		▲514	55.8%
原価	原価率	493	42.3%	529	81.3%	35	107.3%
売上総利益		671		120		▲550	18.0%
販管費	販管費率	174	14.9%	200	30.8%	26	115.0%
営業利益	利益率	496	42.6%	▲79		▲576	-
経常利益	利益率	496	42.6%	▲78		▲575	-
四半期純利益	利益率	341	29.2%	▲56		▲397	-

売上高・営業利益（四半期推移）

（単位：百万円）



当期は、下期に業績が集中





■ 上期に実施した成長投資の内容

- ・ フロー型からストック型ビジネスへの移行に向け、**データセンターを增強。**
- ・ 成長の要となる**人材の獲得を積極的に実施。**
- ・ 当社の強みである、「金融×IT」人材の育成のため、**教育、研修活動を強化。**
- ・ 営業、開発、IT戦略の**情報共有、連携を強化、事業規模拡大に備え、本社移転、増床。**



貸借対照表

(単位：百万円)

	2018.12期	2019.12期 2Q	増減額
流動資産	1,558	1,117	▲440
現金及び預金	1,319	726	▲592
売掛金	90	99	9
固定資産	165	414	249
有形固定資産	7	109	102
無形固定資産	1	134	132
投資その他の資産	156	170	13
資産合計	1,723	1,532	▲191

	2018.12期	2019.12期 2Q	増減額
流動負債	295	156	▲139
買掛金	84	94	10
未払法人税	126	3	▲123
固定負債	54	59	4
純資産合計	1,373	1,316	▲56
負債・純資産合計	1,723	1,532	▲191

2. 事業環境認識・継続的な取り組み



■ 事業環境認識 <IT全体>

IT投資需要の増加

AI、IoT技術を利用した
新しいビジネスの進展

フィンテックによる
新たなサービスの提供

働き方改革、人手不足解消など
生産性向上策のニーズ増加

新技術の取得、対応

プロジェクトマネジメント能力

優秀なエンジニアの確保、育成

課題



事業拡大・収益性向上

**継続的な事業拡大のために、収益の源泉である
金融知識を有するエンジニア、自社開発力を強化**

- ✓ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ✓ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要な領域進出
- ✓ 人材獲得、金融知識・技術教育の充実、強化
- ✓ 顧客資産、技術情報連携体制の強化、確立
- ✓ 本社移転、拡張。データセンター強化

継続的拡大に向けた戦略的投資の実施

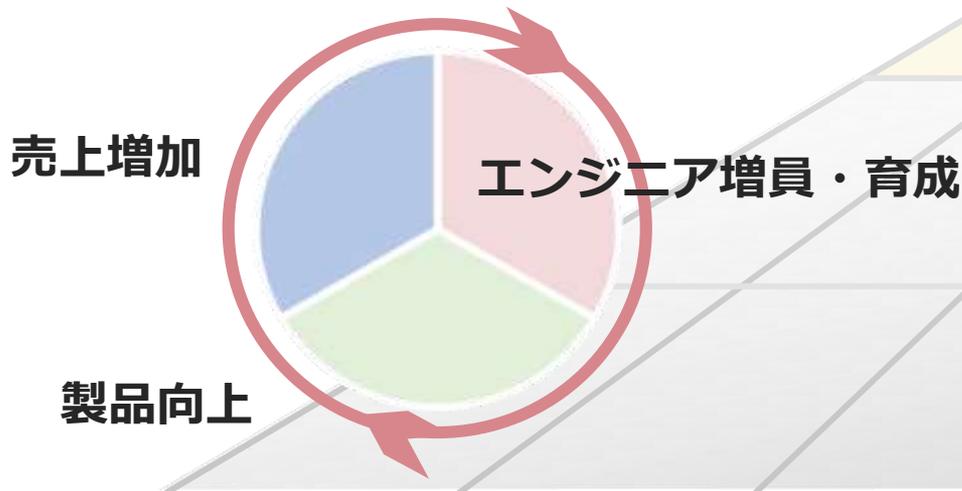
■ 成長戦略

好循環サイクルを活かして事業を拡大 新たなステージに挑戦

NEW STAGE

ソフトウェアの信頼性向上、魅力の促進
他ベンダーとの連携の促進、国際的ブランドの確立

仮想通貨、年金、保険など新たな業種への
事業拡大



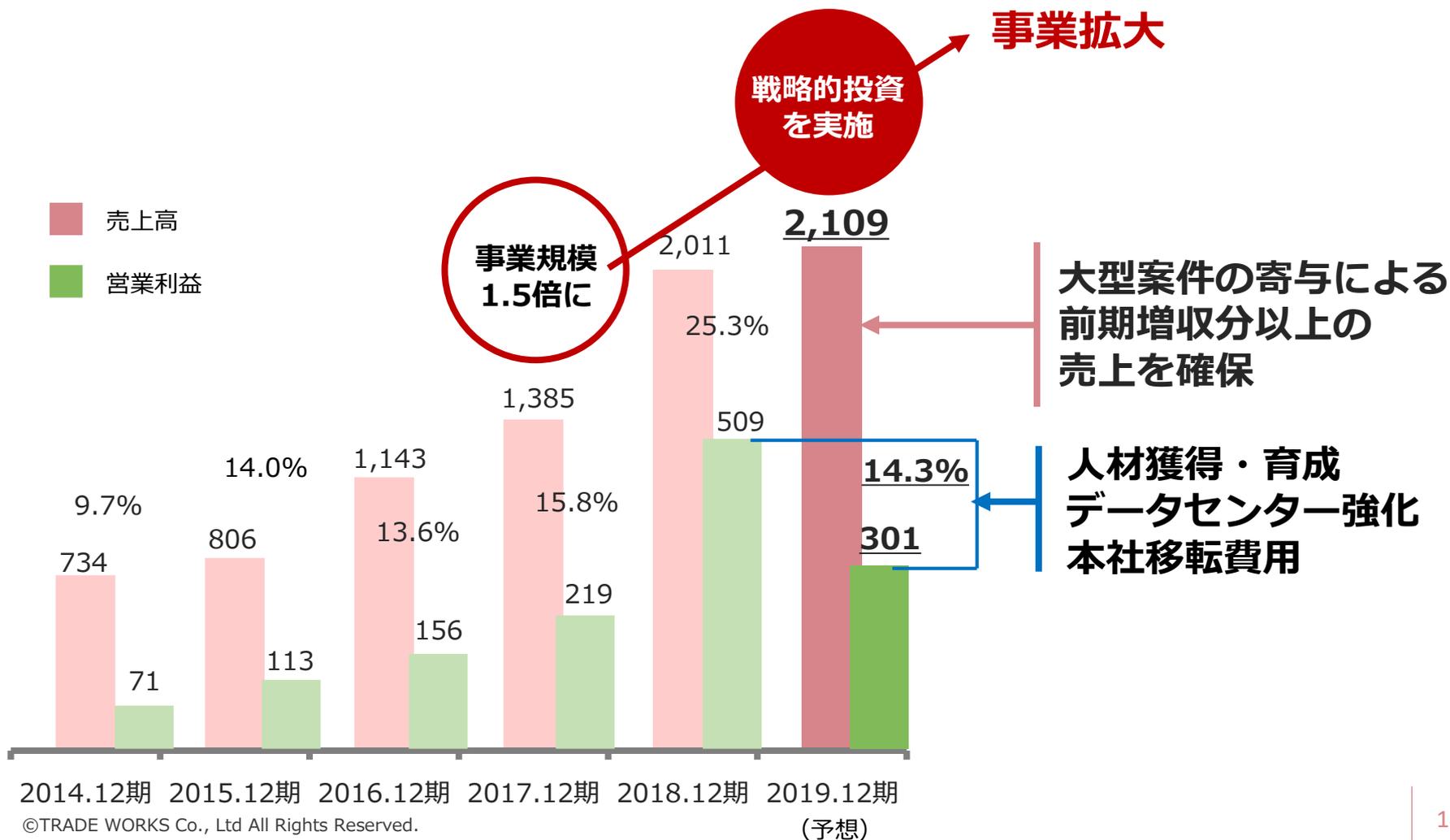
3. 2019年12月期 業績予想

2019年12月期 業績予想

(単位：百万円)



戦略的投資を実らせ、事業拡大を目指します。





■ 2019年12月期 業績予想 (単位：百万円)

戦略投資を実行しつつ、5期連続増収を図ります。

項目	2017.12期	2018.12期	2019.12期 (予)	増減額	前期比
売上高	1,385	2,011	2,109	97	104.8%
営業利益	219	509	301	▲208	59.1%
経常利益	196	509	302	▲207	59.3%
当期純利益	132	362	206	▲156	56.8%

2018年12月期は、大型案件により第1四半期が突出した業績となりましたが、2019年12月期は、第1四半期の業績が突出する業績計画としておりません。



■ 株主還元について

**経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、
利益配分を実施**

初めて配当を実施した、前期同様1株当たり5円の配当を予定

項目	2017.12期	2018.12期	2019.12期 (予)
配当金 (1株)	0円	5円	5円

參考資料



技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術

- 最新テクノロジー
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識



金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



■ 継続的な取り組み

ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。

技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上



■ 留意事項

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング9F
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612
<https://www.tworks.co.jp/>